

【Daylanus the Conquering Wind】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。小神。

■ 称号、職能

あらゆるエレメントを打ち破った“征服の風”。雷鳴の兄弟の石柱。

■ 概略

小暗黒時代、様々なエレメントの者たちがオーランスのステッドに襲い掛かってきたが、その度にデイラヌスは敵を打ち倒し、倒した敵の武器を奪いとった。そうした武器はオーランスに捧げられ、オーランスはその度に最良のものを返したために、デイラヌスは北からは「輝けるスピア」、西からは「バービスターの斧」、東からは「黒のメイス」、南からは三叉の「トライデント」を手に入れた。そして彼はその何れをも使いこなしている。

オーランスのカルトとしては戦の群に根ざしたカルトである。

組織

■ 相、カルト

雷鳴轟かすオーランスの下位カルト。

参考文献

- ・『Thunder Rebel』p.216-217、239